

公益財団法人まちみらい千代田
第1期 第5回 理事会 議事録

1 日 時

平成26年5月22日（木） 午前10時から午前11時20分

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 理事数

6名

4 出席者

(1) 理事・監事

理事（6名）山崎芳明、小田利隆、小嶋勝衛、片山剛、立川資久、堀田康彦

監事（2名）渡邊牧文、大畠康平

(2) まちみらい千代田

理事長 山崎芳明

事務局次長 谷田部継司

各グループマネージャー（3名）

5 議 題

(1) 議案第12号 第2期公益財団法人まちみらい千代田事業計画（案）について

(2) 議案第13号 第2期公益財団法人まちみらい千代田収支予算（案）について

(3) 議案第14号 公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配布資料の確認を行った。山崎理事長より開会の挨拶、4月15日付で監事に就任した大畠康平氏の紹介があり、その後、定款第45条の規定により、山崎理事長が議長となり、開会を宣言した。

続いて、出席者について事務局から報告し、定款第46条で定める定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立している旨を告げた。

次に、本理事会の議事録署名人について、定款第50条第2項の規定により、理事長及び渡邊牧文監事と大畠康平監事を指名し、議案の審議に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案第12号 第2期公益財団法人まちみらい千代田事業計画(案)について

(2) 議案第13号 第2期公益財団法人まちみらい千代田収支予算(案)について

議長から議事の審議に入る前に議案第12号及び議案第13号については関連があるため一括で審議を行いたい旨を提案したところ、全員異議なく了承したため、配付資料に基づき、次のとおり一括して説明を行った。

第2期(平成26年6月1日から平成27年5月31日)の事業計画については、事業体系をより分かりやすく見直し、「住宅まちづくり」、「産業まちづくり」、「協働まちづくり」を3本の柱と位置付けた。

「住宅まちづくり」では、現在、区とまちみらい千代田で所管しているマンション関連施策を、今後はまちみらい千代田が一元的な窓口になることを目指すとともに、特に第2期ではマンションの防災対策の促進支援を積極的に取組むこととした。また、防災対策等マンションに関わる取組みについては、必要な知識経験を有する専門家の協力を仰ぐとともに、職員の育成にも努めていく。

「産業まちづくり」では、中小企業に対する経営支援の充実に向けビジネス法律相談を開始するとともに、市町村サテライトオフィスの取組みを通して、地方との連携を一層強化し地域の活性化にも繋げていく。

「協働まちづくり」では、様々な支援に必要な基礎資料として共同住宅の実態調査を行うほか、マンション内コミュニティ施策の調査検討を行う。また、休止となっている「まちづくりサポート事業」の再開に向けても取組んでいく。

続いて、第2期(平成26年6月1日から平成27年5月31日まで)の収支予算について、重点的に説明したポイントは、以下のとおりである。

○第2期収支予算書(正味財産増減計算書)で、6.05.059.392円が収入合計、6.49.052.149円が支出合計である。まちみらい千代田は第2期から「マンション居住支援」事業を一元的に行っていくが、千代田区との調整により、今期は、まちみらい千代田の持ち出しで新規事業に充てるため、△44.192.757円のマイナスとなっている。

○第2期収支予算書の「I 事業活動収支の部」で、「1. 基本財産運用収入」と「2. 特定資産運用収入」とは、それぞれの債券の運用収入である。

○「4. 事業収入」では、「(2) 区民住宅供給事業収入」の 416,248 千円が大きい。他に、起業塾の参加費・協賛金、会議室や事務室の使用料、「まちみらいニュース」や「千代田 day's」の広告料、プラットフォームスクエアの賃貸収入がある。

○「1. 事業費支出」、「(1) 住宅まちづくり事業費支出」のうち、「マンション管理組合活性化支援事業費支出」とは、「防災対策促進支援」（「防災計画等策定支援」と「防災用品等準備助成」）である。

他にマンション居住支援として、「総合相談窓口の設置」、「管理セミナー等の開催」の予算を拡充し、「管理会社との連絡会設置」と「出張所単位等での相談会の実施」の予算を計上した。

○「(2) 区民住宅供給管理事業費支出」は、422,110 千円となっている。

○「(3) 産業まちづくり事業費支出」では、好評を得ている「ビジネス大賞の実施」と「ビジネス起業塾の開催」の予算を拡充し、「ビジネス法律相談」と「フードバレーネットワークの連携調整」の予算を計上した。

○「(4) 普及啓発事業費支出」のうち、「地域活性化調査研究事業費支出」とは、「共同住宅実態調査」と「マンションコミュニティ施策の調査」である。

最後に第2期資金調達及び設備投資の見込みについて、当期中における借入の予定も、重要な設備投資の予定も、いずれも無いことを確認した。

以上のような説明がなされ、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。なお、その際、次のような質疑や意見があった。

【マンション居住支援について】

○マンション居住支援について、まちみらい千代田が一元的な窓口となるのか？

⇒ これまでの支援で蓄積したノウハウや過去3回にわたるマンション実態調査のデータを活かして、支援の総合窓口としての機能を充実させ、利用者の利便性を向上させる。

○「コミュニティ」という言葉だけではなく、中身に手を入れた施策をやって欲しい。特に防災部門は、実際に役立つものが必要である。

⇒ 第2期ではマンションコミュニティ施策の調査を実施し、マンション内でのコミュニティ形成に関する支援の具体的な施策を検討していく。

○マンション居住区民が増加しているが、当初、人口増加施策であった借上型区民住宅制度をどうするのか？

⇒ 借上型区民住宅制度については、管理期間満了後にどうするか、区が方針を決める。まちみらい千代田では、第二期にもマンション実態調査を行い、区とデータを共有しながら、今後の事業に活かしていく。

○防災対策促進支援で、エレベーターへのキャビネット配置は、実用的で利用者に親近感を持たれるようにして欲しい。

⇒ マンションの実態やエレベーターの種類に対応した形で検討していく。

【防災対策促進について】

○災害時のガスメーターの復旧操作手順など、居住者に対する普及啓蒙は重要である。

⇒ マンション防災対策促進支援の中で、防災計画の策定や防災用品等の準備を支援していく。

【まちづくりサポートについて】

○まちづくりサポートは、現在休止しているが、今後はどうなるのか？

⇒ 従前の審査会委員の方々の意見を伺い、運営方法等の問題点や改善点を整理・修正し、事業の再開につなげる。

【千代田ビジネス大賞について】

○ビジネス大賞は、非常に良い企画なので、さらに充実したものにして欲しい。

(3) 議案第14号 公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について

第4回評議員会は、平成26年5月27日（火曜日）午前10時から、ちよだプラットフォームスクウェア401会議室で開催する。本理事会で承認された第2期の事業計画案、収支予算案及、資金調達及び設備投資の見込みについて、議案とする。

以上のような説明を行い、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

連絡事項として、マンション防災対策促進支援については評議員会での議決後に東京都への認定手続きを行い、認定後に事業を実施すること、また、第1期（1月6日から5月31日まで）の事業報告と収支決算を議題とする次回理事会は、8月中に開催予定であることを連絡した。

8 閉 会

以上をもってすべての審議を終了したので、午前11時20分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、理事長及び監事がこれに署名、押印する。

平成26年5月22日

公益財団法人まちみらい千代田
第1期第5回 理事会

理 事 長 山 崎 芳 明 ㊟

監 事 渡 邊 牧 文 ㊟

監 事 大 畠 康 平 ㊟